

令和 元 年度 第2次総合計画 施策マネジメントシート  
(平成 30 年度の実績評価)

作成日 令和 1 年 6 月 3 日  
更新日 令和 年 月 日

総合計画体系	政策No.	3	政策名	うるおいと活力のある快適なまちの形成	施策主管課	農林商工部 農政課
	施策No.	12	施策名	農林業の振興	施策主管課長名	依田 賢治
施策関連課名				農林土木課、農業委員会事務局		

1 施策の目的

① 対象(誰、何を対象としているのか) *人や自然資源等	② 意図(この施策によって対象をどう変えるのか)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家</li> <li>・農地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業所得が増えて、農家戸数、農業従事者の減少に歯止めがかかり、農業法人が増えていく。</li> <li>・遊休農地が減少し、優良な農地が保全されていく。</li> <li>・林業所得が増えて、林業経営体が増えていく。</li> </ul>
対象の大きさを表す指標 ⇒ 2-① 対象指標	意図の達成度を表す指標 ⇒ 2-② まちづくり指標

2 指標の推移、指標設定の根拠等

指標区分、指標名		単位	数値区分	基本計画現況値	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度
① 対象指標	ア 農家戸数 (農林業センサスの数値)	戸	見込み値			2,485	2,408	2,330	2,253	2,176
			実績値	2,876	2,876	2,399	2,399	2,399	2,399	
	イ 経営耕地面積 (農林業センサスの数値)	ha	見込み値			1,832	1,807	1,782	1,757	1,733
実績値			1,885	1,875	1,656	1,656	1,656	1,656		
ウ			見込み値							
② まちづくり指標	A 認定農業者数	人	目標値			348	351	354	357	360
			実績値	342	361	239	233	220	221	
	B 農業生産法人数	団体	目標値			13	13	14	14	15
			実績値	11	10	15	15	16	15	
	C 遊休農地の比率	%	目標値			10.7	10.2	9.7	9.2	8.7
実績値			11.3	12.5	13.2	12.5	13.2	13.6		
D 林業経営体数	経営体	目標値			19	19	19	19	19	
		実績値	18	18	7	7	7	7		
E			目標値							
まちづくり指標設定の考え方			<p>A: 意欲ある農業者の確保状況を示す。 【農業経営基盤強化法に基づく農業経営計画が認定された農業者数の延べ人数】</p> <p>B: 農業経営基盤の強化を示す。 【市農業委員会データにおける農業生産法人数】</p> <p>C: 農業振興対策の効果を示す。 【耕作放棄地面積÷(耕作放棄地面積+経営耕地面積)×100】</p> <p>D: 林業振興対策の効果を示す。 【農林業センサスにおける林業経営体数】</p>							
目標値の設定の根拠(前提条件や考え方等)			<p>A: 計画的な農業経営を目指す農業者が、5年間で約20人の増加を見込み目標値を設定</p> <p>B: 農業経営の強化を図り、法人化を目指す個人や団体の5年間で4団体の増加を見込み目標値を設定</p> <p>C: 農地の流動化や集積の実施により、5年間で約2%の遊休化率の減少を見込み目標値を設定 【農地利用状況調査(農地パトロール)の結果の耕作放棄地面積を、前年度の耕作放棄地面積から遊休農地流動化再生面積を加え、農地転用された農地を減し、農地利用状況調査(農地パトロール)の結果の耕作放棄地面積を加えた数値で乗じた数値とする。】</p> <p>D: 南アルプス市森林整備計画に基づき、林業経営体数を減少を抑え維持・微増のため、5年間で1戸の増を目指す</p>							

3 予算等の推移

※当初予算額。骨格予算の年度は6月補正後

区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	
関連事業本数	86	88	106	100	98	91	86	
関連事業予算額(単位:千円)	436,066	509,276	563,225	524,071	535,761	660,806	514,483	
(予算額の内訳)	国庫支出金	1	1	23,145	23,145	1	0	0
	県支出金	83,629	89,970	114,432	102,612	123,013	168,300	105,443
	地方債	61,200	140,400	170,800	124,400	117,200	189,000	117,000
	その他	8,462	12,362	47,458	39,882	39,186	32,765	48,308
	一般財源	282,774	266,543	207,390	234,032	256,361	270,741	243,732

#### 4 評価結果(施策の有効性評価)

<b>① 目標達成度評価(目標値と実績値との比較)</b>	
<input type="checkbox"/> 目標値より高い実績値だった <input type="checkbox"/> 目標値どおりの実績値だった <input checked="" type="checkbox"/> 目標値より低い実績値だった	<b>※左記の理由</b> ・認定農業者数は、H27年度の認定基準の見直しがあり大幅に数を減らしたが、その後も農業規模の縮小を理由に更新をしないなど、数が減少傾向が見られる。 ・農業生産法人は、ここ数年においては増加傾向が見えたが長期的には現状維持。 ・遊休農地の比率は、ほぼ同様の率を維持し減少への傾向は伺えない。 ・林業経営体数においては、農林業センサスの数値を利用しているため、数値維持。
<b>② 時系列比較(基本計画現況値からの推移)</b>	
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば向上した <input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかと言えば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	<b>※左記の理由</b> ・認定農業者は、H27年度から減少傾向が3年続き昨年度は実績値で維持することができた。 ・農業生産法人は、過去4年間ににおいては現状を維持している。 ・遊休農地は、農地集積等に取り組み努力を重ねているが、高齢化等を理由とする耕作放棄地の増加が進み、遊休農地の解消が大きくは進まない。
<b>③ 他自治体との成果実績値の比較</b>	
<input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である <input type="checkbox"/> どちらかと言えば高い成果水準である <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である <input checked="" type="checkbox"/> どちらかと言えば低い成果水準である <input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である	<b>※左記の理由</b> ・まちづくり指標で利用した農林業センサスの数値比較では、低めの水準である。 ・認定農業者の山梨県集計では、プラスの数値を確保しているが、本市の数値は設定値よりマイナスの数値となっている。 ・なお、県集計においては、耕作放棄地並びに農業生産法人の数値は公表されていない。

#### 5 まとめ(課題の抽出と解決の方向性)

施策の課題 (現状の問題点)	課題解決の方向性
・認定農業者の新たな確保(担い手) ・地域おこし協力隊員の確保	・農業規模の拡充を目指す新たな担い手を育成し、新規就農者や意欲のある農業従事者を地域で育て、農業を持続する仕組みを構築する。 ・農業を経験し技術の習得を通じて、農業の楽しさを習得できる仕組みを構築する。
・農地の利用集積の遅れ	・農業生産法人等が規模拡大を検討する相談もあるが、果樹園の農業集積は非常に難しいのが現状である。 ・農用地の利用権設定等に関する情報を正しく理解していない農業従事者も見受けられるため、今後も農地の利用集積に関する情報を数多く配信し推進を図ることが必要である。
・遊休農地の増加	・遊休農地の増加を抑えるための手法として、農用地を維持活用するために市が取り組む遊休農地流動化事業の活用と山梨県農地中間管理機構の活用を促し、農地の利用集積と遊休農地の解消を推進する。